

小論文(人文社会系)

問題 次の文章は、歴史家である色川^{いろかわだいきち}大吉が、歴史叙述と歴史小説について論じた一節である。この文章を読んで、後の問い(問1，問2)に答えよ。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(この部分は、著作権の都合上、公開できません。)

(色川大吉『歴史の方法』岩波書店，1992 年。初出は大和書房，1977 年。なお，設問の都合で原文から一部改変したところがある。)

注 1 奈良本辰也＝日本の歴史家。

注 2 黒田武士＝旧福岡(黒田)藩の武士。

注 3 松本清張＝日本の小説家。

注 4 松本清張による日本古代史の通史。

注 5 吉川英治＝日本の小説家。

問 1 下線部に関わって、著者は、歴史家の歴史叙述と小説家の歴史小説の違いをどのように捉えているか。それに関して、第一段階における違いをわかりやすく 100 字以内(句読点を含む)で説明せよ。

問 2 著者は、この後に歴史叙述の第三段階として、第一段階・第二段階の成果を生かした「表現過程」をあげ、歴史家と小説家との違いをフィクション使用の問題(有無)にあると述べている。波線部にある歴史家の「創造的想像力」と小説家の「空想的想像力」という言葉を用いて、あなたがこれからの社会において必要だと考える「想像力」について、具体例をあげながら 800 字以内(句読点を含む)で述べよ。